

## レム睡眠期に生じる異常行動の鑑別診断 (RBD mimics) についての考察

宮本 雅之<sup>1)2)\*</sup> 宮本 智之<sup>3)</sup>

## Differential diagnosis of RBD symptomatology (idiopathic RBD or RBD mimics)

Masayuki Miyamoto, M.D., Ph.D.<sup>1)2)</sup> and Tomoyuki Miyamoto, M.D., Ph.D.<sup>3)</sup><sup>1)</sup>Department of Clinical Medicine for Nursing, Dokkyo Medical University School of Nursing<sup>2)</sup>Center of Sleep Medicine, Dokkyo Medical University Hospital<sup>3)</sup>Department of Neurology, Dokkyo Medical University Saitama Medical Center

(臨床神経 2019;59:211-212)

2018年2月26日

拝啓

この度、藤井先生らが報告されました「レム期睡眠行動異常症と考えられたが睡眠中の行動は閉塞性睡眠時無呼吸が原因であった1例」(臨床神経 2018;58:88-92)<sup>1)</sup>を興味深く拝読させて頂きました。

51歳の中年男性、寝言と睡眠中の行動等を主訴とした症例で、レム睡眠出現周期に一致するような2時間ごとの夢内容に即した異常行動の出現する病歴およびRBDSQ日本語版<sup>2)</sup>からレム睡眠行動異常(rapid eye movement sleep behavior disorder; RBD)が強く疑われました。しかし、ビデオ監視下の睡眠ポリグラフ検査(polysomnography; PSG)を施行した結果、レム睡眠期優位の閉塞性睡眠時無呼吸(obstructive sleep apnea; OSA)重症例で、ノンレム睡眠およびレム睡眠の呼吸イベントの出現時に寝言と四肢の動作を伴うものでありました。CPAP導入のための再検査時には呼吸イベントの消失とともに症状の消失がみられ、REM sleep without atonia(RWA)を認めなかったことから、OSAの呼吸イベントに伴う寝言・行動(RBD mimics or pseudo RBD)<sup>3)</sup>と診断されました。

OSAとRBDの両者は中高年齢者において有病率の高い睡眠関連疾患であり、われわれも併存する症例をしばしば経験しています。最近の報告では周期性下肢運動異常においても同様にRBD mimicsを呈した例の報告があります<sup>4)</sup>。レム睡眠期に呼吸あるいは周期性下肢運動イベントと特発性RBDとの病態の差異を示されており、ビデオ監視下のPSGが鑑別診断に有用であります。われわれはOSAとRBD併存例におい

てはCPAP療法をfirst choiceで行います。そして、CPAP療法によって寝言や異常行動が改善する症例を経験しています。とくに両者の鑑別が重要なのは、OSA(重症)では血管リスク因子として脳卒中や心血管疾患の発症リスクの低減を図り、OSAとRBDの併存例においては血管リスク以外にパーキンソン病あるいはレビー小体型認知症(dementia with Lewy body; DLB)などの $\alpha$ シヌクレイノパチーのハイリスク群であることを念頭に経過観察する必要があるからです。ところで、2017年に発表されたDLBの臨床診断基準<sup>5)</sup>において、RBDと指標的バイオマーカーとしてのRWAおよび心臓交感神経機能異常がそれぞれ中核的特徴と同等に位置づけられたことは注目すべきトピックです。今回著者らはICSD-3において典型的な病歴が確認されればPSGでRWAが検出されなくてもRBDの診断は可能とされている解釈には注意が必要であることを示唆されています。一方、われわれはRBDが強く疑われ、PSGでRWAの検出がわずかな症例において、さらに心筋MIBG検査を施行すると著明に集積が低下している症例を経験しています。Setoらは特発性RBD 27例のうち2例にRWAが検出されず心筋MIBG集積が低下している症例を示されています<sup>6)</sup>。つまりHöglらが示すビデオPSGでの診断基準を満たされない「prodromal RBD」の存在も念頭におく必要があります<sup>7)</sup>。「心筋MIBGの集積低下する時期とPSGのRWAが明確に出現する時期について、いずれの指標が同時期に存在するのか、どちらかが先なのか後なのか」というクリニカルクエスションが想起されます。つまり中高年期にみられる特発性RBDは $\alpha$ シヌクレイノパチーの早期徴候で

\*Corresponding author: 獨協医科大学看護学部看護医科学 (病態治療) / 同大学病院睡眠医療センター

<sup>1)</sup> 獨協医科大学看護学部看護医科学 (病態治療)<sup>2)</sup> 獨協医科大学病院睡眠医療センター<sup>3)</sup> 獨協医科大学埼玉医療センター脳神経内科

(Received May 31, 2018; Accepted February 12, 2019; Published online in J-STAGE on March 30, 2019)

doi: 10.5692/clinicalneurolog.001161

あることは確立しつつあり、さらにそれを裏付ける検査所見である PSG の RWA 所見、心筋 MIBG 集積低下所見の解釈はさらに重要であります。本例においては自覚的な嗅覚障害がないことと便秘がなかったことが記載され、おそらく  $\alpha$  シヌクレイノパチーでない症例ということを強調されたと思います。しかし、われわれはさらにレム睡眠期に呼吸イベントをきたす症例の多くが異常行動を起こすわけではないという疑問を持っており、「RBD mimics or pseudo RBD」が呼吸イベントによって異常行動を生じやすい脆弱性は何か？について注目しています。このような症例はさらなる経過観察が必要であると日頃から考えており、意見を述べさせていただきました。

敬具

※著者全員に本論文に関連し、開示すべき COI 状態にある企業、組織、団体はいずれもありません。

## 文 献

- 1) 藤井陽子, 大倉睦美, 上森榮和ら. レム期睡眠行動異常症と考えられたが睡眠中の行動は閉塞性睡眠時無呼吸が原因であった 1 例. 臨床神経 2018;58:88-92.
- 2) Miyamoto T, Miyamoto M, Iwanami M, et al. The REM sleep behavior disorder screening questionnaire: Validation study of a Japanese version. *Sleep Med* 2009;10:1151-1154.
- 3) Iranzo A, Santamaria J. Severe obstructive sleep apnea/hypopnea mimicking REM sleep behavior disorder. *Sleep* 2005;28:203-206.
- 4) Gaig C, Iranzo A, Pujol M, et al. Periodic limb movements during sleep mimicking rem sleep behavior disorder: A new form of periodic limb movement disorder. *Sleep*. 2017;40. doi: 10.1093/sleep/zsw063.
- 5) McKeith IG, Boeve BF, Dickson DW, et al. Diagnosis and management of dementia with Lewy bodies: Fourth consensus report of the DLB Consortium. *Neurology* 2017;89:1-13.
- 6) Seto M, Nakata R, Yuasa T, et al. Diagnostic value of 123-I-MIBG cardiac scintigraphy for the prediction of conversion from idiopathic REM sleep behavior disorder to dementia with Lewy bodies, and the differential diagnosis of neurodegenerative diseases. *Alzheimers Dis Dement* 2017;1:47-55.
- 7) Högl B, Stefani A, Videnovic A. Idiopathic REM sleep behaviour disorder and neurodegeneration—an update. *Nat Rev Neurol* 2018;14:40-55.

- 1) 藤井陽子, 大倉睦美, 上森榮和ら. レム期睡眠行動異常症と考えられたが睡眠中の行動は閉塞性睡眠時無呼吸が原因で